

大洗一中学校だより 輝け!

平成30年5月8日(火)
大洗一中学校だよりNO. 4
大洗町立第一中学校 267-5288

□「素晴らしい一中生がいます!(3年:大澤僚太さん)」地域の方から、うれしい情報が!

4月18日(水)朝、地域の方が「素晴らしい一中生がいます。是非、褒めてあげてください」とあいさつ運動をしているところに来て、次のような話を伝えてくださいました。

4月17日(火)の夕方、資源ゴミ置き場のところで、押し車につかまっていた90過ぎのおばあさんが、後ろに転倒してしまいました。おばあさんは膝を悪くして一人では立てません。小学校低学年の女の子が起こそうとしたのですが、立ち上がりませんでした。そこに中学生が来て、おばあさんを軽々と起こしてくれました。おばあさんは、お礼を言いながら中学生の名札を見ると「3年大澤僚太」と書いてあったということです。

おばあさんを助けてくれた大澤僚太さんの素晴らしい行いに、地域の方は、「一中には素晴らしい生徒さんがいるんですね」と感動されておりました。大澤僚太さん、本当にありがとう。

□3年生にとって最後の晴れ舞台「東茨城地区総合体育大会」、まずは陸上競技大会!

3年生にとっては最後の晴れ舞台となる「東茨城地区総合体育大会」が、6月20日(水)、21日(木)、22日(金)に行われますが、その口火を切って陸上競技大会が5月9日(水)ケーズデンキスタジアム水戸で開催されます。各部から集った精鋭たちが、大洗一中の名前を背負って出場します。健闘を祈ります。

各部とも、新入部員も加わり、それぞれの目標達成に向けて一生懸命練習に励んでいます。勿論、美術部、パソコン部、吹奏楽部も頑張っています。顧問と共に、全職員で応援していきます。保護者の皆様にも、是非とも、子どもたちの頑張りに、励ましと熱い声援を送っていただければと思います。本番で最大限の力が発揮できるよう、特に健康面、安全面には細心の注意を払ってまいります。心身共にベストの状態を当日を迎えられるよう、ご協力よろしくお願いいたします。



□「朝の全校読書」で落ち着いた雰囲気の中で1日のスタートを!

「落ち着いた雰囲気の中で学校生活のスタート」、「読書の楽しさと学力の向上」「読書の時間確保と本に触れる機会の拡充」をねらいに、毎朝、全校読書を行っています。8時10分から8時20分の10分間、「毎日・みんな・好きな本(勿論、漫画や雑誌、写真集等は除きます)を・ひたすら読む」を合い言葉に、集中して読書に取り組んでいます。今年は、今話題のベストセラー「君たちはどう生きるか」を全クラスに配布しました。



本校では、年間15冊(町教育長賞)を目指しています。年間30冊以上で県教育長賞が、中学校3年間に100冊以上で町長賞、150冊以上で県知事賞が贈られます。県が推進する「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」への取組と併せ、国語力の向上と豊かな心の育成に努めます。ご家庭でも、夕食時に読書の話題に花を咲かせていただければと思います。保護者の皆様にも「わが子にすすめたい一冊の本」を是非とも、お子様に紹介していただけたらと思います。

★知っていますか、「こどもの読書週間」4月23日～5月12日

1959年(昭和34年)にはじまった「こどもの読書週間」。第1回は、日本書籍出版協会児童書部会が中心となって開催した「こども読書週間」(4月27日～5月10日)です。この年は、ポスターではなくしおりを作成し、東京都内の書店やデパートで配布したと記録されています。1960年の第2回より、読書推進運動協議会が主催団体となり、名称を「こどもの読書週間」、期間を5月1日～14日(こどもの日を含む2週間)と決めました。

よく、『こどもの読書週間』の『こども』はなぜ、『子ども』ではないのですか?との問い合わせがあるそうですが、「こどもの日」に名称をあわせたからだそうです。

「こどもの読書週間」は2000年の「子ども読書年」を機に、現在の4月23日～5月12日の約3週間に期間を延長しました。4月から5月にかけては、「国際子どもの本の日(4月2日)」「サン・ジョルディの日:本の日(4月23日)」などの記念日・関連イベントも多く、2001年12月に公布・施行の「子ども読書活動推進法」により4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、「こどもの読書週間」は年々大きな盛りあがりを見せています。